

図書館 だより

平成28年(2016年)冬 No. 328

- こども図書館のベル・コレクションとは? 1面
- ホームページで本の評価が
できるようになりました! 2面
- ボランティアさん大活躍! 3面
- 特ダネスナップーこども図書館編ー 4面
- 休館日のお知らせ1月～3月 4面

こども図書館のベル・コレクションとは?

終戦直後、広島の子童文化復興に深く関わった一人のアメリカ人がいました。当時 CIE（連合国軍最高司令官総司令部・民間情報教育局）顧問であった、ハワード・ベル(Howard Bell)博士です。彼は、アメリカから文房具を送る活動や、日本の学校を直接訪れて子どもたちと交流を行うなど、広島の子童教育に熱意を示しました。

広島市こども図書館の前身である児童図書館の開館にも、ベル博士が関わっています。アメリカ国内の寄付活動で集められた本の中から、昭和 24 年 5 月、ベル博士を通じて児童向けの洋書約 1,500 冊が市へ寄贈されました。これが契機となり、同年 7 月、広島市中区小町にあった広島市立浅野図書館（現：広島市立中央図書館）の 1 室に広島市立児童図書館が併設開館しました。児童図書館発行の館報には、来館した子どもが「(英語版のため)文字の読めないままジューツとさし絵に見入っている姿が非常に印象的であった」という司書の言葉が残されています。



子どもたちに夢を与えたこの寄贈資料は 714 冊現存しており、各方面から寄贈された洋書とともに「ベル・コレクション」と名付けられ、現在こども図書館が所蔵しています。その中には、『Alice's ADVENTURES in Wonderland』（ふしぎの国のアリス）、『The Story of FERDINAND』（はなのすきなうし）など、児童文学の古典や評価の高い創作絵本も多くあります。このベル・コレクションは、アメリカの各家庭で読まれていた本がそのまま集められて寄贈されたという

ことで、絵本『A LITTLE GOLDEN BOOK』シリーズや人気子役だったシャーリー・テンプレの名を冠した本『SHIRLEY TEMPLE STORYBOOK』など、当時のアメリカでどのような本が盛んに読まれていたかを伺うことができます。また、個人名やプレゼントであったことが分かるメッセージなどが書き込まれた本などもあり、本が大切な人への贈りものであったことを知ることができます。

このたび中央図書館にて、ベル・コレクションの一部と、当時の本川小学校の児童が寄贈された文房具のお礼にとベル博士に贈った書画等をご紹介します。ぜひご覧ください。

企画展

「ベル博士とひろしまの子童文化

～本川小学校児童がベル博士に贈った書画を中心に～」

期間：平成 27 年 12 月 12 日（土）

～平成 28 年 1 月 24 日（日）

場所：中央図書館 2 階 展示ホール

